



レース!



kuroinohos

ペリング派 マダウク派に分かれて来日。

彼らの漂着は、鎌倉幕府の設立頃 と軌を一にする。

目の覚めるやうな金髪、掘りの深い顔立ちは、当時の日本人にとって妖怪そのものであったが、キノコを食べると言ふ習俗は、大変好ましいものとして捉へられた。

麦の穂刈り、を行ふ。

後のますらを共は、彼らの魔法 即ち「矢を放つ」術に着目し、彼らと接触した。

とてもややこしいことに、土人は「ご飯てウジみたいであんまりおいしくない」と言ふ人があ
るわりに、エシルと呼ばれる彼らはイリコとご飯を当然のやうに受け入れる。

マダウク派は水田等も構ふやうになった。

オーク

十二世紀 どこかから現れる

手先が器用 猥雑なヒキビトであり、オラブもの オルフと呼ばれる。

来日後、馬、犬、麦、そして畑の改定に着手する。

彼らのもたらした、輪裁 新しい秣 は秋津島へ豊穡を約束した。

トロル

十二世紀頃 来日した。土着の五品と、似たような物として受け入れられる。

犬のやうな鼻、裸の尾を持ち、いささか大きい。

白山信仰と習合し、伝道者として諸国をめぐることになった。岩によりて説教を垂れる者と言ふ一面のほかに、水田へホガヒを垂れるものとして重宝される。

ドワーフ

洞窟に棲む。いはゆるヒキビトで、鉾山を根城にする。

短軀にして頑健、よく働く者で、足が烏のやうな形をし、主に西日本へ、大挙して押し寄せる

。

秋津島での植林の習俗を受け入れたため、まさかりを持つ、森の者と言ふイメージが出来上がってしまった。